

PRESS
YUSUKE
IWAMOTO
Vol.19【編集/発行】岩本優祐
枚方市東牧野町24-29 / TEL:072-851-1428
【発行】平成31年3月

議員報告

大阪維新の会

おおさかいしんのかい

TOPICS

岩本、4年間の総括
議員の「実績」とは？
投票に行こう！ほかすべては枚方の未来のために
次世代に
ツケを残すな！

枚方市議会議員

岩本ゆうすけ

会派 未来に責任・大阪維新の会

会派方針:未来に責任を持つ政治(次世代にツケを残さない、問題を先送りにしない政治)を目指すことを基本方針としています。

※本チラシに掲載している質問・質疑・意見は、枚方市議会で岩本が発言したものの要旨です。

岩本の考え

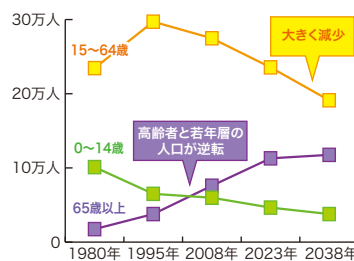
現在、枚方市は(自然動態、社会動態いずれにおいても)定住人口が減少しています。今後、人口減少が進む中でも、定住人口を一定程度確保していくことが必要です。

自然動態	
出生数	2,814人
死亡数	3,565人
社会動態	
転入数	13,291人
転出数	13,638人

※平成29年度

枚方市の年齢階層別人口

※2023年以降は推計



枚方市では25年後、約8万人の人口減少が見込まれています。

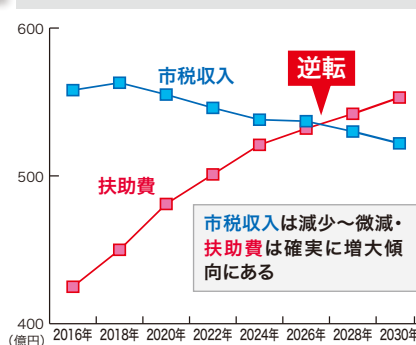
人口減少・少子高齢化が進むいま、
枚方市の現状は？

テレビや新聞で人口減少・少子高齢化がさかんに言われますが、枚方市の現状と、また高齢社会に伴う扶養費増大について現状をまとめました。

岩本の考え

枚方市の仕事、そのものの見直しが必要です。市の各事業について効果を見極め、事業数を減らすことでその事業に直接要する経費だけでなく、職員の時間外手当などの間接的な経費削減にもつながります。持続的な発展のため、徹底した市政改革を推し進めていく必要があります。

枚方市の市税収入・扶助費の今後の見通し

枚方市の財政状況
税収が減少傾向にある方、扶助費が増大していきます。

議員の「実績」とは？

今回、4年間の活動について報告致しました。政策の中には実現し、前に進められたものもあります。しかし政策とは本来、議員個人や会派の力だけで実現できるわけではありません。他会派の議員をはじめ、市職員や関係機関の方々など、多くの人の力が合わさり、実現しております。ご意見やお声を下さった方々、これまで支えてくださった市民の皆様には大変感謝しております。



ひらかた健康ほっとライン24

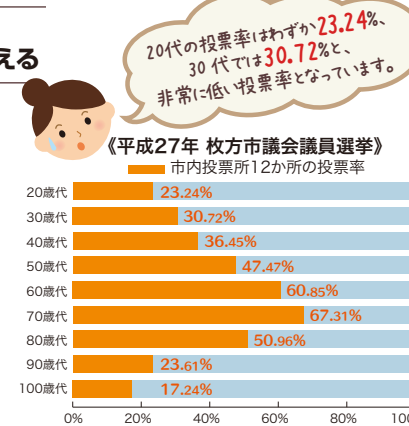
お知らせ

健康や医療に関する電話相談窓口「ひらかた健康ほっとライン24」では、枚方市民を対象に、医師や保健師、看護師など専門の相談員が24時間365日対応します。身体の不調や健康相談、急な発熱や応急処置の方法のほか、出産・育児や介護、メンタルヘルスの相談も受け付けています。

- 健康相談
- 医療相談(病院情報の提供・案内)
- 出産・育児に関する相談
- 介護に関する相談
- メンタルヘルスの相談 など

電話番号:0120-513-080 通話・相談:無料

投票に行こう! 地方から政治を変える

皆様が納めた税金の使い道を決める大事な手段である“選挙”。本年は、枚方市民が投票できる選挙が5回予定されています。前回の枚方市議会議員選挙は、投票率**45.51%**(平成27年)。2人に1人も投票をしておらず、約17万人近くの方が棄権しました。政治に無関心でいられても、政治から無関係でいることはできません。

「1人では、1票では何も変わらない」といわれます。しかし、1人が動かなければ枚方市は変わりません。「このままではいけない」と感じている方は、沢山おられるはず。



発行者紹介

岩本ゆうすけ

大阪維新の会

●昭和55年3月5日、大手前病院生まれ●甲斐田新町出身、東牧野町在住●きよし幼稚園、山田東小、山田中を経て近大附属高校卒。ユングバウムに学ぶ。●立命館大学法学部卒業●(株)パソナ●大阪ガスセキュリティサービス(株)●現在2期目。平成27年4月、3,406票を頂戴し再選。●(一社)枚方青年会議所、NPO法人ふれあいネットひらかた、地域活動や消防団にも参画しています。●キャリアコンサルタント

皆さんと一緒に、
枚方の政治を
変えていきたい。WEBもご覧ください。 ホームページ <https://www.ganpon.net/>

ご意見やご質問・市政相談がございましたら、

岩本ゆうすけまでご連絡を!

携帯 070-6654-6679
メール yusuke@ganpon.net

- 好きな言葉
●一燈照隅(各々が持ち場で責任を果たす)
●自ら機会を創り出し、機会によって自らを変えよ
- 尊敬する人 両親
- 好きな食物 カレーライス
- 家族構成 妻、娘

一歩、前進へ！

行財政改革

岩本の考え
持続可能な自治体に向け、徹底した行財政改革が必要です。広報では、黒字財政を謳っていますが、自治体会計の仕組みでは、借金も歳入に入る計算をしています。よって借金をするほど、黒字が大きくなると言えます。可能な限り、収入の範囲内でやりくりする仕組みへ転換を図っていく必要があります。

- これから取り組むべきこと
- 市有財産の有効活用等の収入確保
 - 民間活力の更なる導入
 - 優先順位を見極めて事業縮小・廃止
 - 意欲向上につながる人事・給与制度改革
 - AI・RPA・IoT等の導入による業務効率向上

教育改革

岩本の考え
変化の激しい時代の中で生きる力を身につけていくために、放課後を含め総合的な学習、またキャリア教育の充実が必要です。子供たちに主体的に学び取る姿勢を身につけさせ、基礎学力・体力を向上させていかなければなりません。そのための学校運営の改革が必要です。

自分には、良いところがあると

	枚方市	全国
小学生	84.1%	80.0%
中学生	67.6%	70.7%

将来の夢や目標を

	枚方市	全国
小学生	83.2%	85.1%
中学生	72.6%	72.4%

※全国学力学習状況調査より

- これから取り組むべきこと
- 教員が授業に専念できる校務支援
 - タブレット等ICT機器の更なる活用
 - 社会人や各種団体の参画によるキャリア教育の重点化
 - 郷土教育の充実
 - 放課後の学校開放



4年間で振り返る岩本の活動



次世代にインパクトを残すべく、岩本ゆうすけの議員としての4年間

重点項目

今号では、この4年間の岩本の活動から、とくに重点をおき推進してきた政策・活動をお届けします。

地の利と歴史を活かす

枚方の成長を促進

岩本の考え
枚方市の交流人口はまだまだ伸び代があります。淀川等の地域資源をこれまで以上に活用しつつ、公民連携による賑わいづくりの取り組みが必要です。

- これから取り組むべきこと
- 淀川舟運の活性化支援
 - 広域での観光施策と郷土教育充実
 - 淀川渡河橋の整備推進と周辺道路の拡幅
 - 市駅前のホテルの誘致
 - 新産業創出への支援
 - パークマネジメントによる賑わいづくり

安心・安全・快適なまちづくり

岩本の考え
安心安全のまちづくりは自治体の第一の責務です。地域や民間の力を活用しつつ、枚方市をより住みやすいまちにしていくことが求められます。

- これから取り組むべきこと
- 避難所の環境整備(公共施設)
 - 協働による防災・防犯体制の強化
 - 通学路の安全対策強化
 - 歩道の整備促進・交差点改良・道路渋滞の解消
 - 手話通訳の充実
 - 成年後見の支援

子育て支援

岩本の考え
各機関連携による妊娠時から切れ目のない支援が必要です。また民間活用をはじめとして保育需要増加への対応(待機児童の解消)を図り、同時に保育の質を高めていく必要があります。

- これから取り組むべきこと
- 駅近や余裕教室・施設の活用による保育施設設置
 - 病児保育の拡充
 - 親学の推進
 - 子育て世代包括支援センター増設

健康寿命の延伸

岩本の考え
市民が健康上の問題なく暮らせるよう、健康増進の取組が重要です。本人のQOL(生活の質)の維持・向上はもとより、地域の活性化や、医療介護費用の増加抑制も期待できます。

- これから取り組むべきこと
- 予防医療の推進
 - がん検診の受診率向上
 - 学校教育で「生涯を通した健康づくり」推進
 - 認知症予防施策の推進

すべては、枚方の未来のために

4年間、行財政改革の先兵たらんと、税金の使い方をただしてきました。

『あれもやります、これもやります。』

そうした政治が続いた結果、国の借金は1,100兆円を突破しました。人口が減少し、少子高齢化が進む今だからこそ、誰かが“改革”の声を上げなければなりません。そして行財政改革で生み出したお金により、教育改革をはじめとした未来への投資、安心・安全のまちづくりを行うべきと声を上げていきます。



未来に責任